

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|-------|-------------|
| 施設番号 | 66-0575 |
| 施設名 | 町田わかさ保育園 |
| 施設所在地 | 町田市成瀬7-10-7 |
| 法人名 | 社会福祉法人 揺籃会 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

1.自然・植物の生長 2.光・色 3.音

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- 1.自然・植物の生長：植物を育てることで水や日光の大切さ、枯れないように育てることの大切さを知り、「生きる」を学ぶ。自然の摂理、収穫による食物のありがたみを知る。
- 2.光・色：光の明暗や角度、色の組み合わせにより現象が変わることの楽しさを理解し、感性を磨く。
- 3.音：音の違いや音楽の楽しさ、演奏による協調性など音楽感性を磨く。

2. 活動スケジュール

- 1.自然・植物の生長：令和6年4月～9月/合計12回
- 2.光・色：令和6年9月～令和7年3月/合計14回
- 3.音：令和6年11月～令和7年2月/合計12回

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 1.自然・植物の生長：枝豆の種・じゃがいもの苗・さつまいもの苗・培養土
- 2.光・色：光源テーブル・プラスチック製の色プレート・鏡
- 3.音：和太鼓・ミュージックパッド・ハンドベル・

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 1.自然・植物の生長：枝豆の種・じゃがいもの苗・さつまいもの苗を植えて、生長具合を観察して収穫まで行った。グループに分かれて水やりなど忘れないように世話をした。
- 2.光・色：光源テーブルにプラスチック製の色プレートを置いて、色の重なりや形あそびを楽しんだ。子どもたちは色の輝きと、色が混ざり合うとどの色に変化するか興味のある子が多かった。色プレートを鏡ボックスにあてるとさらにうつり方と重なりが面白く、子どもたちは興味津々であった。鏡の映り方の不思議さに飽きずに遊んでいた。
- 3.音：和太鼓演奏では音の重なりとリズムを合わせる感覚を楽しんだ。ミュージックパッドを使って、1～2歳児が音の違いに気づき、何度も何度も楽しんでいた。ハンドベルなども自由にならして音の違いに気づき簡単な音あそびを行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- 1.自然・植物の生長：「芽が出てきたよ」「どんどん葉っぱが大きくなってきた」「なんだか元気がないみたい」「もう土が乾いてきたみたい」など、植物の生長ぶりに気づいた。ジャガイモやサツマイモがどのようにできるのか、根っこの様子に興味を持ち「わぁ、すごい!」「つながってるよ」と、見たことのない様子に興奮している子もいた
- 2.光・色：「おもしろいね」「じゃあこれは何色になるんだろう」「わ～、きれい」と色あそびと光の輝きを飽きずに楽しんでいた。鏡を使ったあそびも夢中になる子はじーっと鏡を見ていて、鏡の不思議さに興味を示していた。
- 3.音：和太鼓演奏では「リズムが難しい」「楽しい」という子と、ミュージックパッドを使って、1～2歳児が音の違いに気づき、何度も何度も楽しんでいた。ハンドベルなども自由にならして音の違いに気づき簡単な音あそびを行った。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- 1.自然・植物の生長：植物の育ちを継続して観察することで「育てる」という意識を持つことができた。収穫の喜びをクラスで感じあえたことがよかった。
- 2.光・色：こどもの発想の豊かさ、色の重なりからの発展、鏡面に映った自分への反応や光の反射に多くの子どもたちが興味を示しており、興味を引き出すことの大切さを学んだ
- 3.音：音色の違いと音あそびの面白さに気づく子が多く、低年齢児でも思いのままに遊びを楽しむことができた。また和太鼓の音が合わさった時の心地良さを感じられた